



第3回DIC協議会 資料

令和3年11月30日

1. 全体スケジュール

2. これまでの取組状況

3. DIC協議会として注力していくべき取組の検討
(ディスカッション)

1. 全体スケジュール

完了 実施中 予定

取組	令和3年（2021年）												令和4年（2022年）					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
関連イベント等																		
協議会	企画・調査			構成員 ヒアリング														
	開催	第1回 4/28						第2回 9/6			第3回 11/30						第4回 2月下旬～ 3月上旬	
データプラットフォーム構築検討会			産労局ピッチ 6/23	試行			第1回 9/6			実証実験 決定		実証実験実施						
PT	ライブ・エンタメ（産労局ピッチ1件+DICピッチ2件）	産労局	産労局ピッチ 6/30			第1回 8/18				イベント 決定		イベント実施						
		DIC								イベント・実証実験等 募集～決定		イベント・実証実験 実施						
										イベント・実証実験等 募集～決定		イベント・実証実験 実施						
	モビリティ・物流（自動運転1件）		自動運転：公募		選定				第1回 10/7		実証実験実施		※実施時期調整中					
	防犯・防災			・まち協会員等ヒアリング ・（次年度立ち上げに向けた）課題整理、テーマ、メンバーの設定 ・勉強会の実施 など													立上げ	
	環境・サステナビリティ																	
5G等 基盤整備	民間アセットDB構築			調査設計	調査		DB化											
	5G等環境整備補助制度構築								DIC補助金 募集開始									
広報	SNS		Facebookページ構築															
	HP		ホームページ構築															

現在

検証を踏まえた令和4年度の方角性

1. 全体スケジュール

2. これまでの取組状況

3. DIC協議会として注力していくべき取組の検討
(ディスカッション)

2-1. 第1回ライブ・エンタメPT 開催結果（概要）

開催日	<ul style="list-style-type: none"> 2021年8月18日（水）10時～12時
開催場所	<ul style="list-style-type: none"> テレコムセンタービル20階 会議室A
参加者	<ul style="list-style-type: none"> （株）フジテレビジョン、森ビル（株）、（一財）東京臨海副都心まちづくり協議会、プレティア・テクノロジーズ（株）、東京都港湾局
議事	主な意見
臨海副都心における ライブ・エンタメ のテーマに係る 課題	<ul style="list-style-type: none"> <u>エリアにエンタメなどコンテンツが流れ込む仕組みや仕掛けが非常に重要</u> 例) <ul style="list-style-type: none"> ✓ 補助金がある ✓ 自由に取り組める（ワンストップで相談が済み、やり切れる） ✓ 規制緩和（例：公共空間でのドローン飛行範囲-プロムナード公園で、他のエリアとは違う一定の規制緩和が為されている）等 <u>コロナ禍でも安心して訪問できるまちの環境作りが必要</u> 実証を通して規制緩和につながるとよい 例) <ul style="list-style-type: none"> ✓ <u>人通りがあるプロムナード公園でのドローン活用</u> ✓ <u>街中でのプロジェクションマッピング</u> ✓ <u>AR、インスタレーション、プロジェクションを使った企画や広告</u> ✓ イベントと連携した<u>物販スペースの設置</u>
イベント・実証実験	<p>「臨海副都心におけるAR技術を活用したイベント」プレティア・テクノロジーズ（株）</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨海副都心の今後のまちづくり促進のための可能性を探りつつ、先端技術のショーケースとしての認知度を向上させるために、DIC協議会と連携してAR技術を活用した謎解きイベントを実施し、回遊性にどのような影響を与えることができるか分析する

2-2. 実証実験企画の状況

募集内容	<ul style="list-style-type: none">エリアを訪れた方の満足度の向上や、エリアへの来訪意欲の増進を図るため、以下のイベントやコンテンツについて、2つのテーマの実証実験の企画を募集した。<ul style="list-style-type: none">✓ (A) 臨海副都心現地における様々なイベント等の体験価値を向上させるサービス・技術の実証実験✓ (B) バーチャル空間における遠隔視聴を通じて、エリアのイベント等の来訪意欲の増進につなげるサービス・技術の実証実験						
募集期間	<ul style="list-style-type: none">令和3年（2021年）10月26日～11月8日						
選定件数	<ul style="list-style-type: none">2件程度						
審査の状況	<ul style="list-style-type: none">11月16日にプレゼンテーションを含めた審査会を開催し、評価を実施済み。						
審査結果	<ul style="list-style-type: none">上位評価 2 件 <table border="1"><thead><tr><th>応募枠</th><th>応募内容（概要）</th></tr></thead><tbody><tr><td>(B)バーチャル</td><td>・ バーチャル空間活用によるオンラインからの現地イベント参加体験</td></tr><tr><td>(A)現地</td><td>・ スマホによる「アプリレス・マルチアングルビューイング」システム開発</td></tr></tbody></table>	応募枠	応募内容（概要）	(B)バーチャル	・ バーチャル空間活用によるオンラインからの現地イベント参加体験	(A)現地	・ スマホによる「アプリレス・マルチアングルビューイング」システム開発
応募枠	応募内容（概要）						
(B)バーチャル	・ バーチャル空間活用によるオンラインからの現地イベント参加体験						
(A)現地	・ スマホによる「アプリレス・マルチアングルビューイング」システム開発						
今後の進め方	<ul style="list-style-type: none">審査会での評価に加え、連携するイベント等と調整した上で、実施予定						

2-3. 第1回モビリティ・物流PT 開催結果（概要）

開催日	<ul style="list-style-type: none"> 2021年10月7日（木） 12時30分～14時30分
開催場所	<ul style="list-style-type: none"> 日本科学未来館 コンファレンスルーム海王星
参加者	<ul style="list-style-type: none"> 東京都立産業技術研究センター、日本未来科学館、（株）Mobility Technologies、日本工営（株）、東京都港湾局
議事	主な意見
臨海副都心におけるモビリティ・物流のテーマに係る課題	<ul style="list-style-type: none"> 規模が広いので、<u>エリア内での気軽な回遊を促す</u>ことが大事 <u>パークアンドライドのような移動手段</u>が使いやすい <u>域内移動部分を電動モビリティ</u>にするとエリア内のゼロエミッションにもつながり、SDGsにもつながる <ul style="list-style-type: none"> ✓ 繁忙期や土日は駐車場が埋まり、大規模イベントが実施されると交通が麻痺する ✓ 青海、台場、有明等に1か所で乗り付け、そのエリアで完結して帰ることが多い ✓ お台場エリアは新宿や渋谷等の小規模ではなく、中規模のエリアで、交通機関を使わないと移動できない ✓ 移動すると都度駐車場料金がかかる。マイカーで来る人達の経済的な課題を解決する必要がある ✓ モビリティを活性化し、オリンピックで整備された環境を活かして、エリア外からの移動をしやすくできないか 例) <ul style="list-style-type: none"> ✓ <u>パークアンドライドの実装に向け、大規模駐車場の建設、エリア外からの来訪者に合わせたプレミアムな来訪価値の提供</u> 電動キックボード、警備用移動ロボットや歩行ロボット等検討中のものについて <u>実証環境を提供</u>してほしい ウエストプロムナードでの社会実装に向けて、<u>パーソナルモビリティ等が横断歩道を渡る</u>許可が必要 <u>実証実験は、ダイバーシティの視点（高齢者、障害者、子ども等）を考慮すべき</u>である <u>親子連れで使えるレンタルモビリティ</u>が必要 <ul style="list-style-type: none"> ✓ レンタル自転車で移動している人が多いが、子連れでは使えない
自動運転の実証実験について	<ul style="list-style-type: none"> 日本科学未来館との連携を検討

2-4. 第1回データプラットフォーム構築検討会 開催結果（概要）

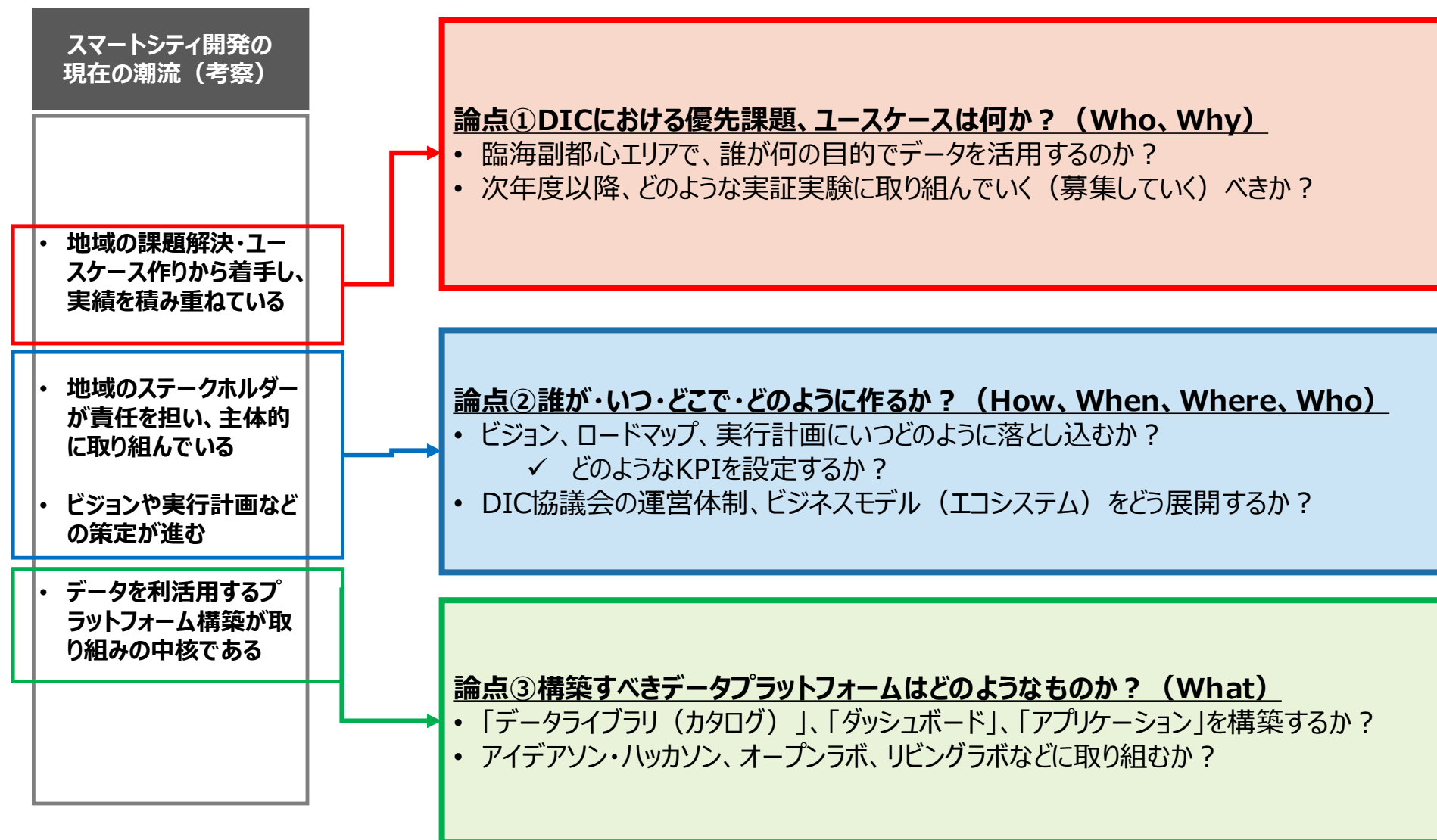
開催日	<ul style="list-style-type: none"> 2021年9月6日（月）16時30分～17時30分
開催場所	<ul style="list-style-type: none"> オンライン（Zoom）
参加者	<ul style="list-style-type: none"> DIC協議会構成員（全者）、（株）ナイトレイ
議事	主な意見
データプラットフォーム構築に向けた考え方	<ul style="list-style-type: none"> <u>データの活用方式が大切（公開データ／非公開データ、無償／有償）</u> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 無償：ハッカソンのような形で新しい活用法促進の活動、有償：新しいスタート企業の促進活動 都としてはイノベーションを起こすため、<u>できるだけ多くのデータをオープンにしていきたい</u> <u>データの提供先を可視化</u>すべき <ul style="list-style-type: none"> ✓ ①住民、②事業者（スタートアップ企業や大企業等対価を払っても使いたい人）、③東京都など自治体（地域運営に携わる組織） <u>先端技術のショーケース化、スタートアップ集積を目的としてデータプラットフォームを整備</u> <ul style="list-style-type: none"> ✓ SU企業が使いたくなるようなデータがPF上に並んでいれば、必然的に企業も技術も集まる。そのような仕組み作りが大事 ✓ 規制緩和が必要（例：屋外の高精度測位データの取得を緩和すればより精緻なデータが拾え、新しいサービスを提供できる） ✓ 5Gの普及範囲などの可視化 <u>エリアでどのようなデータが利活用できるのか、二次利用の際のサービスを想定してアーキテクチャを検討</u>するのがよい <ul style="list-style-type: none"> ✓ マッピングも必要。その上で、データのオーナー問題、無償/有償問題、課金方法（時間・データ量など）を議論 <u>顧客ニーズからサービス内容を考え、既存データをどう使うか、足りないデータは新しく取得するか</u>、という議論の方法もある
実証実験	<p>「ビッグデータ等を活用した臨海副都心の動態等調査及び分析」（株）ナイトレイ</p> <ul style="list-style-type: none"> ビッグデータ等を活用して臨海副都心の動態調査を実施し、臨海副都心の実態把握と、データによりDIC関連イベント等の評価を行うことで、データ活用のあり方や課題を整理し、データプラットフォーム構築検討やイベント実施等、今後の協議会での検討及びDICの取組に活用する

1. 全体スケジュール

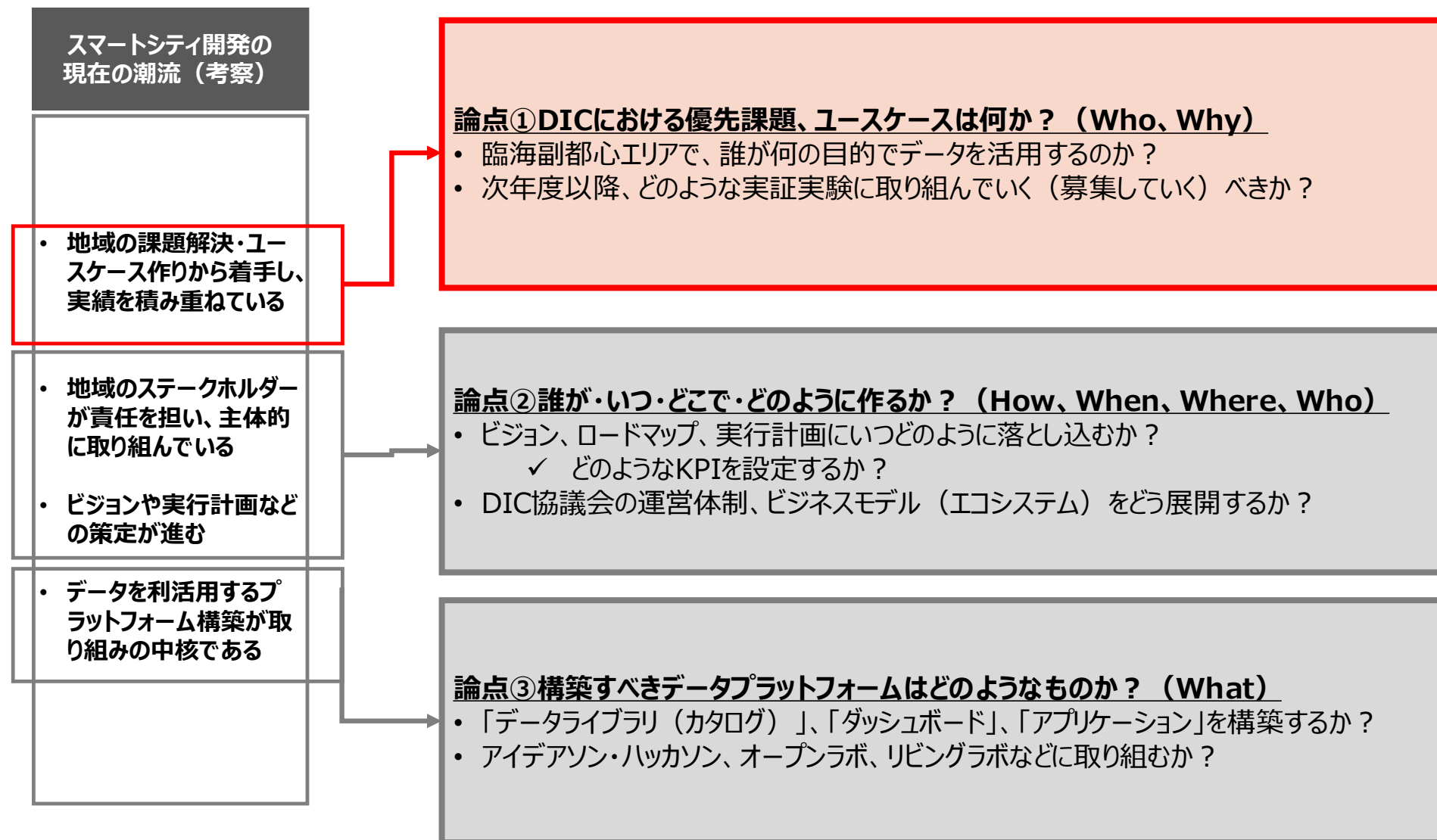
2. これまでの取組状況

3. DIC協議会として注力していくべき取組の検討
(ディスカッション)

4. DIC協議会として注力していくべき取組の検討（ディスカッション）



4. DIC協議会として注力していくべき取組の検討（ディスカッション）



(参考) 今年度DIC関連の実証実験等で設定した課題等

実証実験等の募集	設定した課題（募集要項等からの抜粋）
自動運転	<ul style="list-style-type: none"> • 回遊性の向上やスタートアップの集積につながる移動サービスなど、まちの魅力向上に資する自動運転技術を活用したサービスの実証を行い、様々なコンテンツと連動した“移動だけでなく乗って楽しいエンタメ性”を高め、賑わいを創出することが可能なプロジェクト • サービスの実証にともない事業化の可能性を検証し、臨海副都心における自動運転技術の実装を促すことができるプロジェクト
産業労働局ピッチ①	<ul style="list-style-type: none"> • 『臨海副都心をデータで見える化』 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 商業施設・企業が多数存在する臨海副都心において、お客さま、働いている方々や場所・スペース等を見える化することによって、サービス向上や施設等の利便性向上に資する提案を募集します。
産業労働局ピッチ②	<ul style="list-style-type: none"> • 『臨海副都心のまちの魅力発見と向上』 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 臨海副都心は広範囲に住・遊・働の場が共存しています。広範囲であるがために、一つのエリアや特定の施設を訪れた方々に対し、まち全体の魅力を十分に伝えることができていません。そこで、各エリア間や施設間の回遊性を向上するサービスや、回遊そのものを楽しめるようなサービスを募集します。
DIC実証実験等①	<ul style="list-style-type: none"> • エリアを訪れた方の満足度の向上や、エリアへの来訪意欲の増進を図るため、以下のイベントやコンテンツについて、2つのテーマの実証実験の企画を募集します。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ (A) 臨海副都心現地における様々なイベント等の体験価値を向上させるサービス・技術の実証実験 ✓ (B) バーチャル空間における遠隔視聴を通じて、エリアのイベント等の来訪意欲の増進につなげるサービス・技術の実証実験
DIC実証実験等②	<ul style="list-style-type: none"> • エリアを訪れた方の満足度の向上や、エリアへの来訪意欲の増進を図るため、以下のイベントやコンテンツについて、2つのテーマの実証実験の企画を募集します。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ (A) 臨海副都心現地における様々なイベント等の体験価値を向上させるサービス・技術の実証実験 ✓ (B) バーチャル空間における遠隔視聴を通じて、エリアのイベント等の来訪意欲の増進につなげるサービス・技術の実証実験

4. DIC協議会として注力していくべき取組の検討（ディスカッション）

